



# 委員會報告



## 委員会

### 医療安全管理委員会

#### 設置目的

- 1) 報告されたインシデントについての原因分析、対策の検討、職員への周知
- 2) 医療安全に関する職員研修、指導
- 3) その他、医療安全に関する事項の協議

#### 委員構成

委員長（病院長）、副委員長2名、看護部長、事務長、各部署長等

#### 2017年度の活動報告

毎月、委員会の開催日前日までに報告されたインシデント事例1ヶ月分の中から重要事例を採り上げ、部署内での対策を協議し、対策が不十分であれば、更に改善を依頼し、結果を翌月の委員会にて確認した。また、複数部署にかかわる事例では、対応・対策について協議・調整した。

2017年度のインシデントの総報告数は299件であり、前年度より32%増加した(図1)。

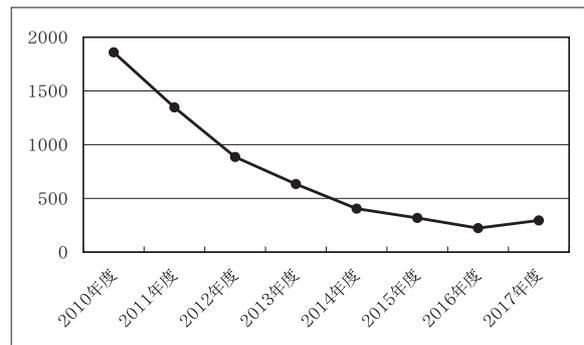


図1 インシデント報告件数の年次推移

#### 部署別報告数の年次推移

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
医局	64	73	41	11	8	8	1	1	1	6
外来	132	147	113	83	48	47	30	20	16	14
2階病棟	402	474	550	500	223	129	109	96	80	125
3階病棟	170	235	210	109	73	63	59	70	45	48
手術室	83	261	233	146	46	40	37	11	7	8
薬剤科	41	57	68	40	71	53	26	7	6	4
リハ科	199	233	224	235	238	148	37	21	20	12
放射線科	48	56	57	37	33	26	15	15	15	7
臨床検査科	91	64	65	52	39	24	29	23	10	35
栄養科	169	213	154	49	49	28	28	27	15	25
医療事務課	48	127	116	72	35	34	23	11	3	11
地域医療連携室	35	28	22	11	11	16	8	3	0	2
診療情報管理室					16	22	9	16	7	2
その他	8	11	13	4	1	4	3	1	2	0

事故種類別では、「転倒・転落」「薬剤」「ドレーン・チューブ」「検査」「療養上の世話」が減少傾向から転じ、増加した（図2）。

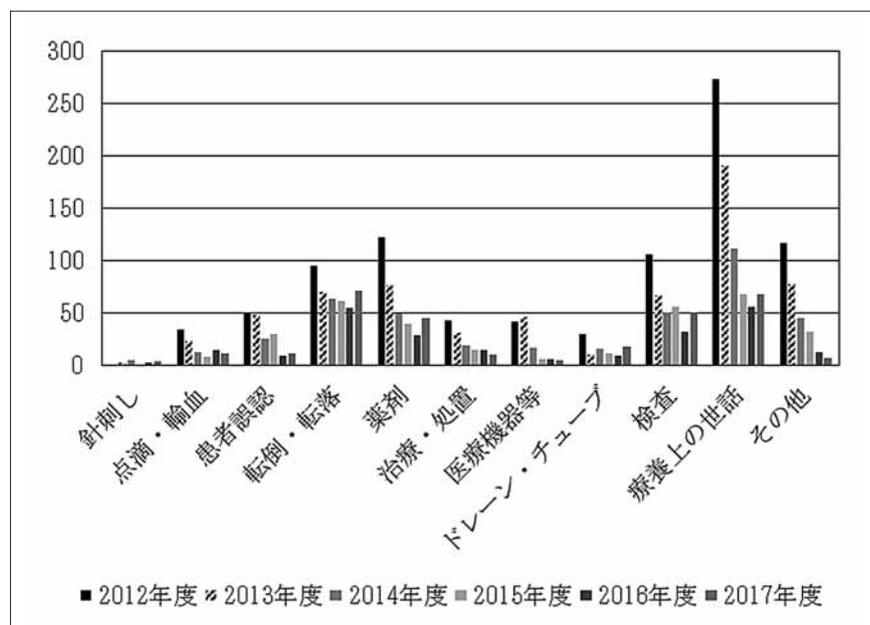


図2 事故種類別報告数の年次推移

## 職員研修会

医療安全に関する職員研修会を、7月28日および2月23日に実施した。

## 2018年度の目標

各部署の委員がインシデント報告を頻繁に閲覧し、自部署のみならず他部署の報告にも目を通す機会を増やすようにする。

## まとめ

特に「患者誤認」「薬剤」「検査」関連のインシデントを減らすよう努力する必要がある。





## 感染対策委員会

### 設置目的

- 1) 院内感染状況の把握と対策の検討、職員への周知
- 2) 院内感染の職員研修、指導
- 3) 感染者数等の統計資料作成
- 4) 感染性医療廃棄物の処理に関する協議

### 委員構成

委員長（病院長）、副委員長2名、看護部長、事務長、各部署長等

### 2017年度の活動報告

毎朝の病棟での申し送りの時、入院患者の感染に関する情報を報告し、全職員に周知して感染防止に関する意識を高めた。インフルエンザ等の流行期においても、毎朝の申し送り時に感染委員会より感染の状況等を報告し、院内感染防止の注意喚起を図った。

また、手指衛生サーベイランスを実施し、手指衛生の目標指数を設定し、結果の掲示を行った。入院患者1名に対し1日3回手ピカジェルを使用した。

### 職員研修会

5月26日 「院内感染予防のための感染症対策」 出席率77% 他はレポート提出

10月26日 「抗菌薬の適正使用・インフルエンザについて・ノロウイルスについて」  
出席率80% 他はレポート提出

その他 標準予防策・職業感染予防策・針刺し事故について等、特に新人看護師や看護補助者に対し研修を行った。

グリッターバッグ演習を全部署に対し7/19～8/7に行った。

### 2018年度の目標

- 1) 標準予防策を徹底し、院内感染を制圧する  
手指消毒の徹底、マスクの着用、熱発、嘔吐下痢症状発生時に速やかに報告する。
- 2) 感染発生に迅速かつ適切に対応できる体制を作り、院内感染の蔓延防止に努める
- 3) 院内感染防止対策の状況把握、指導を行う

### まとめ

院内感染防止のため標準予防策を徹底し、各部署毎に年間目標を設定し、目標達成に向け活動を行った。達成率を毎月報告することで意識付けが行われ、標準予防策の周知徹底が図れた。インフルエンザ流行期には全職員のマスク着用、面会制限を行い、蔓延防止に努めた。手指衛生では、手ピカジェル使用回数が職員1人1日平均2.6回と目標達成回数には届かなかった。当院は手術件数も多く、手指消毒は院内感染予防の基本となる。今後とも一行為一手洗いの周知徹底、声掛けを行っていききたい。

## 褥瘡・栄養対策委員会

### 設置目的

褥創、栄養対策を検討し、その効果的、効率的な推進を図る。

### 委員構成

委員長 1名、副委員長 2名、委員 13名

### 2017年度の活動報告

褥創発生の原因分析を行い褥創発生予防を図る

院内褥瘡発生件数：30名 推定褥瘡発生率1.6%

発生部位：仙骨・背部・大転子部・尾骨・踵部

発生時の深さ：DESIGN-R分類 d1～d2

発生要因：不十分な体圧管理・骨突出・低栄養

### 2018年度の目標

- 1) 委員会メンバーが各部署で十分に活動できる基盤をつくる
- 2) 基準・マニュアルの見直し、新規作成を行う

### まとめ

昨年度の推定褥瘡発生率は1.6%（全国平均1.6%）で仙骨部、背部の褥瘡発生率が高かった。発生要因として「疼痛などによりポジショニングによる体圧分散が不十分であったこと」が全ての事例で考えられ、特に座位時の体圧管理に対する認識が低かった。このことから、ポジショニングに対する理解と更なる技術の向上が課題としてあげられた。

褥瘡予防には多くの職種の連携が必要であるが、部署間で基準・マニュアルが整備されておらず統一された十分な活動ができていない現状がある。今年度は基準・マニュアルを委員会として統一し活動の基盤を作っていきたい。





## 業務改善委員会

### 設置目的

当院における患者サービスに関する事項、サービス向上のための業務改善、効率化、環境美化及び職員の服装マナーの向上、院内・院外広報に関する事項を推進することを目的とする。

### 委員構成

委員長 1 名、副委員長 1 名、委員 8 名

### 2017 年度の活動報告

環境美化活動及び患者の入院環境の安全確保（院内ラウンド、病院敷地内のゴミ拾い）を行った。

ゴミの適切な分別の取り組みを行った。

### 2018 年度の目標

- 1) 環境美化活動および院内環境の安全確保（院内ラウンド方法見直し等）
- 2) 服務規律の見直し

### まとめ

前年度と同様週 1 回ラウンドを行うと共に、月 1 回の病院敷地内の清掃活動を行うことで施設全体の環境整備に努め、現状維持できるよう活動した。ラウンドでの問題点、要望、改善策を委員会で検討した。

ゴミの分別では、外来のゴミの分別が徹底されていなかったためゴミ箱を購入しゴミの分別に取り組んだ。

引き続きラウンドの強化、ゴミの分別の周知を目標としていきたい。



## 教育委員会

### 設置目的

医療安全管理教育、感染対策教育、倫理教育、および職員の質向上のための教育活動を行うことを目的とする。

### 委員構成

委員長 1名、副委員長 2名、委員 26名

### 2017年度の活動報告

開催日	研 修 会	テ ー マ
4月21日	医療ガス委員会	医療ガスの取り扱い
5月26日	感染対策委員会	院内感染予防
6月30日	救急委員会	アナフィラキシーショック
7月28日	医療安全管理委員会	ペイシエントセーフティ
8月25日	NST	摂食嚥下障害と食事介助
9月29日	個人情報保護委員会 労働安全委員会	個人情報の取り扱い メンタルヘルス
10月27日	感染対策委員会	インフルエンザ・ノロウイルス
11月18日	教育委員会	院内研究発表会
1月26日	倫理委員会	事例検討会
2月23日	医療安全管理委員会	転倒・転落について

### 2018年度の目標

- 1) 院内研究発表会を計画に沿って開催、運営する
- 2) 部署枠を越えた教育や研修を行い、全職員の知識向上を図る

### まとめ

昨年に行われなかった院内研究発表会を開催し、各部署より7演題の発表があった。自主性を重視したうえで発表者を募った結果7演題の応募があり、職員の研究意欲・発表技術の向上等も含めて大変有意義な院内研究発表会であった。

その他、救急委員会では外来で発生したアナフィラキシーショックについて、感染対策委員会ではインフルエンザやノロウイルスの流行期前に研修を行う等、時期的要因にも着目し研修を行うことができた。

2018年度も同様に、職員の知識向上を目標とし教育計画を立てていきたい。



## ● そ の 他 ●

# NST（栄養サポートチーム）

### 設置目的

入院患者一人ひとりに必要な栄養の質及び量の摂取（投与）方法について提案し、健康を早く回復できるように支援するチーム医療。

### 委員構成

医師（西宮）、管理栄養士（中村、安部）、薬剤師（尾中）、言語聴覚士（安藤）  
看護師（園田、中山、深井、竹谷、羽田野、有吉、村井）

### 2017年度の活動報告

毎週水曜日の13：30より対象患者のカンファレンス及び回診を実施した。

（対象者） SGA 評価（B、C、D、Z）患者・摂食嚥下障害患者・褥瘡患者・アルブミン値3.0未満の患者・食事摂取量低下の患者・大幅な体重減少の患者  
（NST介入患者数） 256名 延べ患者数756名

### 2018年度の目標

- 1) 対象患者の抽出をスムーズに行い、その患者の栄養状態を改善し、早期退院や社会復帰を助ける
- 2) 対象患者に対し、適切な栄養管理が行われているかどうかを判断し、最もふさわしい栄養管理が行えるように多職種で活動する
- 3) NST対象患者で在宅へ退院する患者については、栄養食事指導（訪問栄養指導）を行う
- 4) 回復期リハビリテーション病棟のNST介入患者については、栄養管理について週1回の見直しを行う
- 5) NST担当スタッフになるため、施設実習に参加する（看護師・言語聴覚士など）

### まとめ

入院する全患者に対し早期に栄養状態の把握を行い、栄養状態不良患者に対してNSTが介入してより良い栄養状態の改善に努めたいと考える。

## 糖尿病相談会

### 設置目的

糖尿病の治療にあたり、本疾患に対する患者自身とその家族における基本的な知識の理解・普及を高める。

### 委員構成

医師（木下院長）、管理栄養士（中村）、薬剤師（尾中）  
 看護師（羽田野、中山、立石、山瀬）、理学療法士（重村、釘宮、大津）  
 臨床検査技師（今永）

### 2017年度の活動報告

#### 1) 第43回糖尿病相談会

テーマ：上手な食事療法について、食べてレシピを学ぶ

開催日：2017年7月15日（土） 場所：3階会議室 参加人数：8名

内容：ふだん敬遠されているひき肉を使った料理を題材として、糖尿食の実試食会を開催し、工夫することで低カロリーでも美味しくかつボリューム感のある食事に行うことができることを体験してもらおうと同時に、食事療法への理解を高める。

#### 2) 第44回糖尿病相談会

テーマ：自宅でも行える運動

開催日：2017年11月11日（土） 場所：3階会議室 参加人数：4名

内容：糖尿病の治療のひとつである運動療法。家庭でも簡単に行え、継続できる運動を紹介し運動療法について理解してもらおう。

#### 3) 第45回糖尿病相談会

テーマ：糖尿病のいろは ～糖尿病の基礎から理解しよう～

開催日：2018年3月17日（土） 場所：3階会議室 参加人数：6名

内容：糖尿病の基礎知識について確認し、生活習慣の改善を図る。

### 2018年度の目標

- 1) 糖尿病に対する基礎知識の理解及び普及
- 2) 糖尿病相談会の年3回以上の開催

### まとめ

2017年度は年3回の開催となった。内容は食事療法、運動療法、そして糖尿病の基礎的な部分についての再確認であった。



## 静脈血栓塞栓症（VTE）対策チーム

### 設置目的

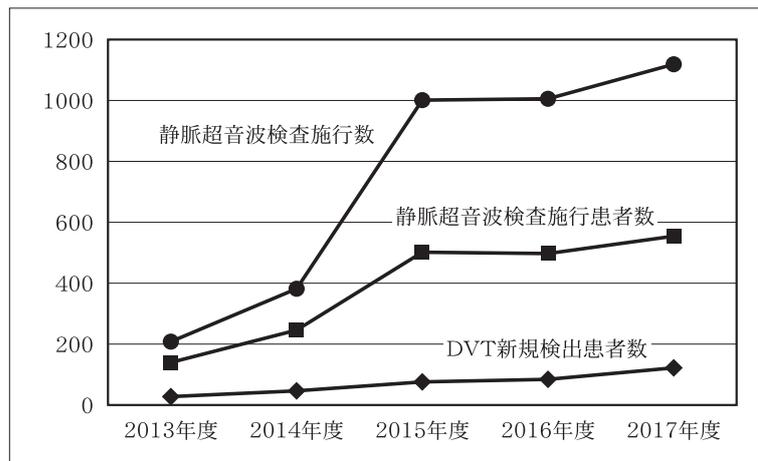
2012年10月より医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、臨床検査技師からなる「VTE対策チーム」を組織し、ハイリスクの入院患者を対象に毎週回診を行いながらVTE対策に取り組んでいる。

### スタッフ

医師 1名、看護部長、各病棟看護師、リハビリテーションスタッフ（数名）  
臨床検査技師 1名

### 2017年度の活動報告

回診対象患者は670名（整形外科604名、内科66名）、静脈超音波検査施行患者は558名、同検査施行数は1,121件、深部静脈血栓（DVT）新規検出患者は121名（18.1%、2016年度は15.0%）であった。肺血栓塞栓症の発症はなく、症候性DVTは1例のみであった。



静脈超音波検査施行患者数、同検査施行数、DVT新規検出患者数の年次推移

### 2018年度の目標

- 1) 入院時のリスク評価を正しく行う
- 2) 有効かつ無駄のない予防策を確立する
- 3) 予防策の変更・中止の判断を遅滞なく行う

### まとめ

回診対象患者の増加（手術患者の増加）に伴い、静脈超音波検査施行数も増加している。より効率的なVTE対策を確立していく必要がある。

## 親 和 会

### 設置目的

親和会は、会員同士の親睦の向上と福祉の充実を図るとともに、病院の発展に寄与することを目的とする。

### スタッフ

会長 1名、副会長 2名、会計 1名、会計監査 1名、役員 11名

### 総 会

- ・総会は通常総会と臨時総会の2種類とする。
- ・通常総会は、毎年3月末に病院総会に合わせて行う。
- ・臨時総会は、会長が必要を認めた時、又は会員の3分の1以上の要求があった時に随時開催する。
- ・議長は会長が行う。
- ・総会は会員の過半数をもって成立する。ただし、委任状出席を認めるものとする。

### 会 計

- ・収入 ①会費 ②寄付金 ③その他（必要に応じて臨時総会費を徴収することもある）
- ・支出 ①職員旅行 ②レクリエーション活動 ③忘年会 ④慶弔見舞金 ⑤その他
- ・会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする
- ・会計報告は、毎年3月の通常総会で行う

### 2017年度の活動報告

4月6日	親睦会	場所：海老酔
6月23日	ボーリング大会	場所：OBSボール
9月22日	親睦会	場所：レストランサッポロ
10月20日	ミニバレーボール大会	場所：新日鉄体育館
12月8日	忘年会	場所：オアシスタワーホテル



ボーリング大会



ミニバレーボール大会



# ニュースリリース



## 明野中央病院

### 一日介護師体験

明野中学校3年生12名が参加

明野中央病院木下昭生院長は、5月12日のナイチンゲールの誕生日を記念して、今年も一日介護師体験を5月13日



に行った。介護師体験学習では、「看護師の仕事が良く分かります。これを機会に看護師を目指して頑張ってください」と挨拶し、その後委嘱状の伝達式の後、ナースステーションで血圧測定と、手術後のケア体験と消毒と包帯の体験を行った。またリハビリ体験では患者さんの気持ちになり、車椅子、松葉杖の体験等が行われた。体験した生徒は「患者さんの食事の準備と配膳では、患者さんの病気に合った食事を作る事が大変重要な事が分かりました。最後に病院内を廻り、いろんな体験をしなから、看護師の仕事は大

変重要な仕事だと思いました。今後の進路の選択に看護師を目指して頑張ってみます」と話していた。また、他の生徒は「お母さんのふる里に高齢のおじいちゃんとおばあちゃんがいいます。今日の体験学習で大変良い勉強が出来ました」と話していた。

## ▼ 明野タイムズ



「人が安心・明野創生」実行委員会（小柳義明会長）主催で、明野中央病院の中村佳子管理栄養士を講師に迎え、「楽しく美味しく食べて健康に」と題して8月9日あけのアクロスタウン3階アクロスホールで約300名が参加し、講演会が行われた。講師 明野中央病院 中村佳子 管理栄養士 木下昭生 院長

## 明野地区健康講演会

主催 「人が安心・明野創生」実行委員会 明野校区公民館

平成29年度健康づくり講演会では「健康寿命を延ばす為に楽しく美味しく食べて健康に」をテーマに、明野中央病院の中村佳子管理栄養士が約1時間の講演を行った。医療や介護を必要とせず、元気に自立した生活ができる期間を「健康寿命」という。中村管理栄養士は、この「健康寿

## ▲ 明野タイムズ

命」を延ばすことにつながる食生活の大切さについて説明した。身につけたい食事習慣として、①とにかく楽しく、リラックスして食べる、②「良い眠り」は朝ごはんから生まれる、③食事はバランスとリズム、様々な栄養をバランスよく、規則正しく食べる、④十分な水分を取る、⑤季節に合った伝統的な食事を大切に、⑥塩分と油を減らす、を中心に、健康で長生きにつながる食事のあり方について話した。



写真提供 明野中央病院・大分市明野支所

講演会会場の様子

明野  
健康づくり講演会

～楽しくおいしく食べて健康に～



八月九日、明野アクロスホールにて健康寿命を延ばそう「楽しく美味しく食べて健康に」をテーマに、明野中央病院・栄養科長・中村佳子講師による食生活と健康、食事を楽しむことの大切さについて映像を使いわかり易く楽しく学ぶ講演会が開かれ約二百四十人が参加。毎

年、明野地区ではこの時期、大分市のまちづくり活性化事業の支援を受けて「健康講演会」を開催しています。また、明治明野公民館主事さんによる歌の出し物などもあり、参加者からはリラックした空気の中で講演会を楽しんだ。

▲ 大分団地新聞



大東中二年生が参加

明野中央病院  
職場体験学習

九月十四日、明野中央病院で中学生の職場体験学習が実施され、大分市立大東中学校二年生の生徒八名が参加しました。病院内の色んな職種を見学し、触れ合いながら、その中で将来自分がなんの仕事を目指していくのかを考えるきっかけにしてほしいと病院が体験学習を受け入れているもので、毎年この時期に行われています。今回は、放射線室・検査室・オペ室・薬剤科・リハ室の見学を行い、生徒達は説明を聞きながら真剣に学習に取り組んでいました。

▲ 大分団地新聞



# 大東中学校2年生 明野中央病院で職場体験学習

明野中央病院(木下昭生院長)では9月13日・14日に大東中学校2年



職場体験学習に参加した大東中学校の生徒

生8名が参加し、一日職場体験学習が行われた。木下昭生院長は、「病

院では外来患者や入院患者さんにとって看護師さんは大変重要な仕事です。今日は看護師さんの仕事を体験し、将来は看護師さんを目指してこれからも頑張つて勉強して下さい」と挨拶した。

体験学習では、ナースステーションで看護師さんの一日の仕事の内容を聞いた後、各病室でベットのシーツ交換や患者さんの手足を洗うなどの病棟での看護師体験学習と、手術室見学、リ

ハビリ見学等を体験しながら、生徒たちは看護師さんの仕事は大変な仕事だと感じたと話していた。

参加した生徒の1人は「おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に暮らしていますので、今日体験した事を活かし、少しでも喜んでもらえるように孝行したいです」と話していた。



看護師さんからの説明

## 四重奏

◇…大分市明野東の明野中央病院(木下昭生院長)

で13日、新春恒例の寄席があり、患者や地域住民ら約60人が初笑いを楽しんだ。

◇…県南落語組合大分支部の太田雅浩さん(27) 11日



田市11ら3人が出演。「勉強」「千早振る」「長短」の各演目を、相撲や政治などの時事ネタを織り交ぜながら披露した。軽妙な語り口、おどけた表情に、会場からはクスクスと笑いが起きた。

◇…腰の手術で入院している臼杵市内の男性(57)は「テレビの笑点を欠かさず見ているが、生の落語は初めて」と満足げ。笑う門には福来る。病氣もけがも吹き飛ばす一番の薬になった?



明野中央病院

## 笑う門には福来る

病気もケガも不況も  
笑いで吹き飛ばして

一月十三日、明野中央病院（木下昭生院長）にて県南落語組合から三名を招き新春恒例の寄席が行われ、患者や地域住民ら約六十人が初笑いを楽しんだ。今年で十一年目になる。今回は、「長短」勉強「千早振る」など時事ネタを時折まじえた演目が披露され、会場からは笑いと拍手が起きた。

▲ 大分団地新聞

明野中央病院（木下昭生院長）は、1月13日西館3階会議室で第10回新春明野寄席を行った。木下昭生院長は「笑う門には福来ると言います。今日の初笑いで病気も不況も笑いで吹き飛ばしていい年を始めましょう」と挨拶し、新春寄



## 明野中央病院 第10回新春明野寄席

席が行われた。

落語は県南落語組合「寿限無」（大分支部）の3名によつて行われ、安藤正毅さんの「長短」、山田貴己さんの「千早振る」、太田雅浩さんの「勉強」が披露され、軽妙な語り口に会場からは笑いが起こっていた。

入院患者さん達は「今日は初めて落語を生で聞き、おなかから笑いました。笑うことで元気が出たように感じます」と話し、晴れ晴れとした明るい表情で会場を後にしていた。  
写真 「長短」の落語を話す安藤正毅さん

▲ 明野タイムズ



# 骨と筋力を鍛えよう！

「こつ・ロコ講座」で健康づくり 大分市

大分市の明野中央病院で立ちなどの予防体操に挑戦骨粗しょう症とロコモティブシンドローム（ロコモ）を予防する「こつ・ロコ講座」が始まった。明野地区住民ら37人が、全6回の講話や体操を通して健康づくりに楽しく取り組む。初回は、加齢による運動器の障害で立つ、歩くといった機能が低下するロコモについて学んだ。中村英次郎副院長が要介護の要因になることを説明。「骨と筋力を鍛えるのが健康寿命を延ばす基本」と呼び掛けた。参加者は看護師と一緒に自身のロコモ度をチェック。リハビリセラピストの指導で、スクワットや片脚



ロコモを予防する体操に取り組む参加者

ソウの「こましろすあえ」のレシビを教わった。同市明野東の湯田国男さん(77)は「寝たきりになる前の予防が大切だと実感した」。講座は地区住民への健康啓発活動の一環として、同病院の専門職員がチームを組み初めて企画。6月まで月1回、膝や腰の痛み、骨と筋肉に良い食事などをテーマに実施する。

## 明野地区

### 骨粗しょう症・ロコモ教室 第1回明野こつ・ロコ講座

主催 明野中央病院

明野中央病院（木下昭生院長）はふくろうの会の共催で骨粗しょう症・ロコモ教室「明野こつ・ロコ講座」の第1回を1月26日に明野中央病院3階会議室で開催した。

骨粗しょう・ロコモになるのを防ぐことを目指す明野こつ・ロコ講座は、「いつのまにか骨折」の原因となる骨粗しょう症やロコモティブシンドローム（運動器症候群）について理解を深め、要介護状態や寝たきり



中村英次郎副院長

分の足で元気に歩いてほしい」という願いを込め、整形外科専門医師、看護師、薬剤師、栄養管理士、リハビリセラピストなどの専門職がチームを組み、楽しく勉強できるよう企画されている。講座の内容は、腰痛や膝痛などの病気の解説の他、ロコモ予防体操や骨と筋肉に良い料理レシビの紹介など盛りだくさんの内容となっている。当日は30名の募集に対し約40名の参加者が集まり、第1回目は開校式、「ロコモティブシンドロームについて」ロコモ対策で要介護や寝たきりを防ぐことの内容で行われ、明野中央病院の中



筋力強化のためのロコトレ体操

村英次郎副院長を講師に迎えて行われた。教室は講義形式だけでなく体を動かすロコトレ体操も行われ、参加者からは「お話がわかりやすく、教えてもらった体操をこれから続けて、健康寿命を延ばせるようがんばります」と話していた。また、各回とも受付時に血圧測定などの健康チェックやロコモチェック、ロコモ体操、また転倒予防対策、介護保険や栄養管理などの相談コーナーも行なう。次回第2回は2月23日の14時から行われる。

## 編集後記

当院が事業報告書（年報）の制作を始めたのは2007年からです。当時の年報を読みますと、苦楽を共にした先生方や職員たちのことが思い出されます。2008年度まではコピーを貼り合わせたような代物で手作り感溢れるものでしたが、2009年度より一部を印刷業者に制作依頼し現在に至っています。表紙は当院のロゴであるフクロウが飾ることが多いです。内容は、その年度にあった病院行事や病院事業データ、各部署の活動報告などです。ふくろうの会に代表される近隣住民の皆様、ボランティアの会の方々、お世話になっている他の医療機関の方々に、当院のありのままの姿をお伝えすることで、日頃の感謝の気持ちを伝えたいと思っています。稚拙な編集で申し訳ない気持ちで一杯ですが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集委員一同





医療法人社団唱和会 明野中央病院

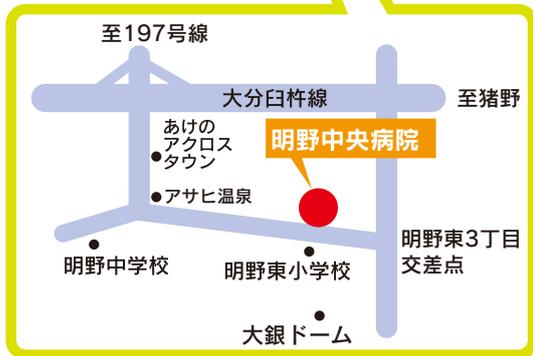
## 2017年度 事業報告書

2018年8月1日発行

発行 医療法人社団唱和会 明野中央病院  
〒870-0161  
大分県大分市明野東2丁目7番33号  
TEL (097) 558-3211  
FAX (097) 558-3709

印刷 株式会社 電子印刷センター  
〒874-0011  
大分県別府市大字内竈1393  
TEL (0977) 66-5365  
FAX (0977) 66-5383





医療法人社団 唱和会

# 明野中央病院

TEL 097-558-3211

FAX 097-558-3709

〒870-0161 大分県大分市明野東2丁目7番33号

E-mail: akenohp@fat.coara.or.jp <http://www.akenohp.jp/>



明野中央病院  
AKENO CENTRAL HOSPITAL

